

## II 十勝農業改良普及センターの普及活動方針

### 1 活動目標

- (1) 道が策定する「第6期北海道農業・農村振興推進計画」に示されている「めざす姿」として「多様な担い手と人材が輝く力強い農業・農村」を確立するため、4つの将来像である「持続可能で生産性が高い農業・農村の確立」、「国内外の需要を取り込む農業・農村の確立」、「多様な人材が活躍する農業・農村確立」、「道民の理解に支えられる農業・農村確立」を踏まえ、十勝農業が今後とも高品質な農畜産物を安定的に供給する取組を加速する。

また、「十勝連携地域政策展開方針」の目指す姿である、「食」を中心とした関連産業の展開により、多様な主体が動く、魅力あふれる道東の拠点「十勝」を基本に、生産基盤の強化や担い手の育成・確保に向けた効果的な取組を促進し、たくましく力強い農業の展開を推進する。

- (2) 「第2期北海道創生総合戦略」の取組を推進するため、十勝総合振興局や試験研究機関、大学、地域関係機関・団体等との連携を強化し、十勝の強みや資源を最大限に活かした地域農業の振興に向け、プロデュース機能を発揮した積極的な組織提案型普及活動を展開する。

### 2 具体的な活動方向

- (1) 農業・農村振興の最も基本かつ重要な課題である「人」づくり「土」づくりを推進する。
- (2) 「持続的地域の発展及び国民に安全・安心で高品質な食料を安定的に供給する」という農業の使命を果たすため、農業経営の安定・発展や農業経営を担う人材の確保・定着に向けた取組を推進するとともに、地域農業支援組織の育成・強化を図る。
- (3) 優れた経営感覚を備えた農業経営者の育成による所得の確保、高品質な農畜産物の生産の拡大を図り、国際化に対応できる足腰の強い経営体の育成と確立に努める。
- (4) 地域内耕畜連携による堆肥等の有効活用を図るとともに、みどりの食料システム戦略をふまへ環境に配慮した減農薬、減化学肥料栽培及び農業生産工程管理（GAP）導入を促進するなど、十勝らしい有機農業の確立や安全・安心な農畜産物の供給を目指した取組を推進する。
- (5) 省力化・品質向上を実現するため、試験研究などと連携しスマート農業の推進を図るとともに、地域農業の活性化に向けた取組を推進する。
- (6) 十勝の恵まれた環境を活かし、農商工との連携による農畜産物の付加価値向上に向けた取組を推進するとともに、グリーンツーリズムや食育、教育旅行、地産地消の取組などを支援し、生産者と消費者の相互理解を促進し農業農村の持続的発展につなげる。

### 3 具体的改善方向

- (1) 持続可能で生産性が高い農業・農村の確立

持続可能で生産性が高く、安全・安心を確保した農業を展開するため、基盤整備や生産コストの低減、適切な栽培・飼養管理、スマート農業技術の導入による生産性向上や省力化などにより、安定的所得確保に向けた経営基盤の強化を図る。

ア 連作障害及び地力低下を回避するため、輪作体系確立を基本とし、土壌の改善と適正な前作物の確保と堆肥、緑肥等を有効活用した良質な農産物の安定供給体制を確立する。また、耕蓄連携による家畜糞尿利活用および請負耕作等による地力の維持・向上を図り、地域循環型農業を確立する。

イ 野菜・花き等の生産性向上・品質の高位平準化と新規作物の導入・定着促進による畑作複合経営の確立を図る。

ウ 畜産では、周産期病等の減少、飼養環境の改善による酪農経営の効率化を推進する。また、和牛子牛の事故率低減と繁殖性の向上による収益性の高い肥育素牛生産、肥育技術の確立による「十勝和牛」ブランドの知名度向上を図り、肉牛経営の強化を図る。

エ 家畜糞尿等の有効活用と土壌診断による適正施肥を促進し、飼料基盤の拡大と良質粗飼料の安定確保による飼料自給率の向上を図り、環境調和型農業・畜産経営を推進する。

オ 適切な防除を推進するとともに確実な植物防疫対策を講じる。また、家畜伝染病の予防と

蔓延防止対策を継続的に実施し、衛生管理対策の強化を図る。

カ 消費者ニーズの安全・安心な農畜産物の生産と消費者に期待されるポジティブリストの対応、YES!clean表示制度等の取組及びGAP導入に向けた啓発に努めクリーン農業の拡大を図る。また、有機農業者及びネットワーク組織の活動を支援し、有機農業に対する理解の醸成を推進する。

(2) 国内外の需要を取り込む農業・農村の確立

消費者ニーズに対応し、十勝のブランド力の強化や農畜産物の輸出などの販路拡大、地域資源を活かした新たな価値の創造を推進する。

ア 農畜産物の加工や販売等、6次産業化への取組及び地域の特性を活かした「十勝ブランド」を推進する。

イ 十勝総合振興局が設置する会議等で、情報の共有と各関係機関との協力体制を構築し、管内の6次産業化の取組について円滑な推進を目指す。

ウ 十勝産農畜産物の海外への輸出、国内における新たな市場開拓など販路拡大の取組を支援する。

エ 「フードバレーとかち」に代表される、食と農を中心とした十勝産業振興構想についての活動を支援する。

(3) 多様な人材が活躍する農業・農村の確立

家族経営体の強化や法人経営の育成・発展、経営感覚を備えた経営者、後継者の育成、地域をリードする女性農業者の育成、農業支援組織の育成・強化などにより地域農業を支える人材の活躍、雇用機会の確保、快適な生活環境の整備などの推進する。

ア 農業者が主体性を持って創意工夫を発揮した経営が展開できるよう、経営診断等による経営管理及び経営計画の樹立など、自立した経営管理能力の醸成を図る。

イ 農業法人の経営管理の高度化や安定的な雇用の確保のため、経営安定・発展に向けた支援を進めるとともに、地域農業の発展に向け、農業関係者との連携を強化する。

ウ 農作業受委託組織、TMRセンター、ほ育・育成預託システム等の育成・拡充を支援するとともに、スマート農業など新たな生産方式導入による十勝型農業支援組織を構築する。

エ 経営感覚を備えた農業経営者を育成するため、新規就農者や就農希望者を対象とした研修教育の充実を図り、積極的な就農を促進する。また、農業青年グループの自主的な活動定着に向けた支援とプロジェクト活動の取組により、農業経営に必要な知識や技術の習得を図るとともに、「青年アグリフォーラムin十勝」への積極的な参加を誘導する。

オ 農業経営・地域農業への女性の参画を推進するため、管内女性ネットワーク組織への運営支援及び農村女性の自主的な活動を支援するとともに、女性農業者の技術や経営など資質向上を図るための取組を推進する。

カ 地域振興、担い手支援に対する役割を発揮できる環境を整備するとともに、普及活動の最大の応援団である指導農業士・農業士との連携を一層促進する。

キ 農業委員会をはじめとする関係機関との連携を図り、遊休農地の発生防止をに向けた取組を促進するとともに、農地の集積、大区画化に向けた取組推進を支援する。

(4) 道民の理解に支えられる農業・農村の確立

農村の多面的機能の発揮や活力ある農村づくりや都市と農村交流の促進や農業・農村の魅力発信などにより、道民への農業の理解度を高める。

ア 帯広空港、道東道を利用した道央圏からの十勝観光の受け皿として、ツーリズムビジネスの起業化とネットワークを構築する。

イ グリーン・ツーリズム関連組織と連携して、地域資源を活用した全十勝的な取組を支援する。

ウ 学校・社会教育

と連携した食農教育、教育旅行、地産地消、スローフードに呼応する消費者と生産者が共有する愛食運動などに対する活動を支援する。

エ 地域住民と農業者の協働して地域の活性化に向けた取組を促進する。